

2026年3月期 第3四半期決算概要



日進工具株式会社

2026年1月30日
(証券コード6157)

目次

2026年3月期3Qの業績	P. 3 . . .	第3四半期決算（累計）の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	業績推移
<hr/>		
2026年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	下期業績予想と進捗率
	P. 16 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 18 . . .	新製品情報
	P. 19 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 20 . . .	投資指標
	P. 21 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 22 . . .	I R 情報サイトのご案内

2026年3月期 第3四半期の業績



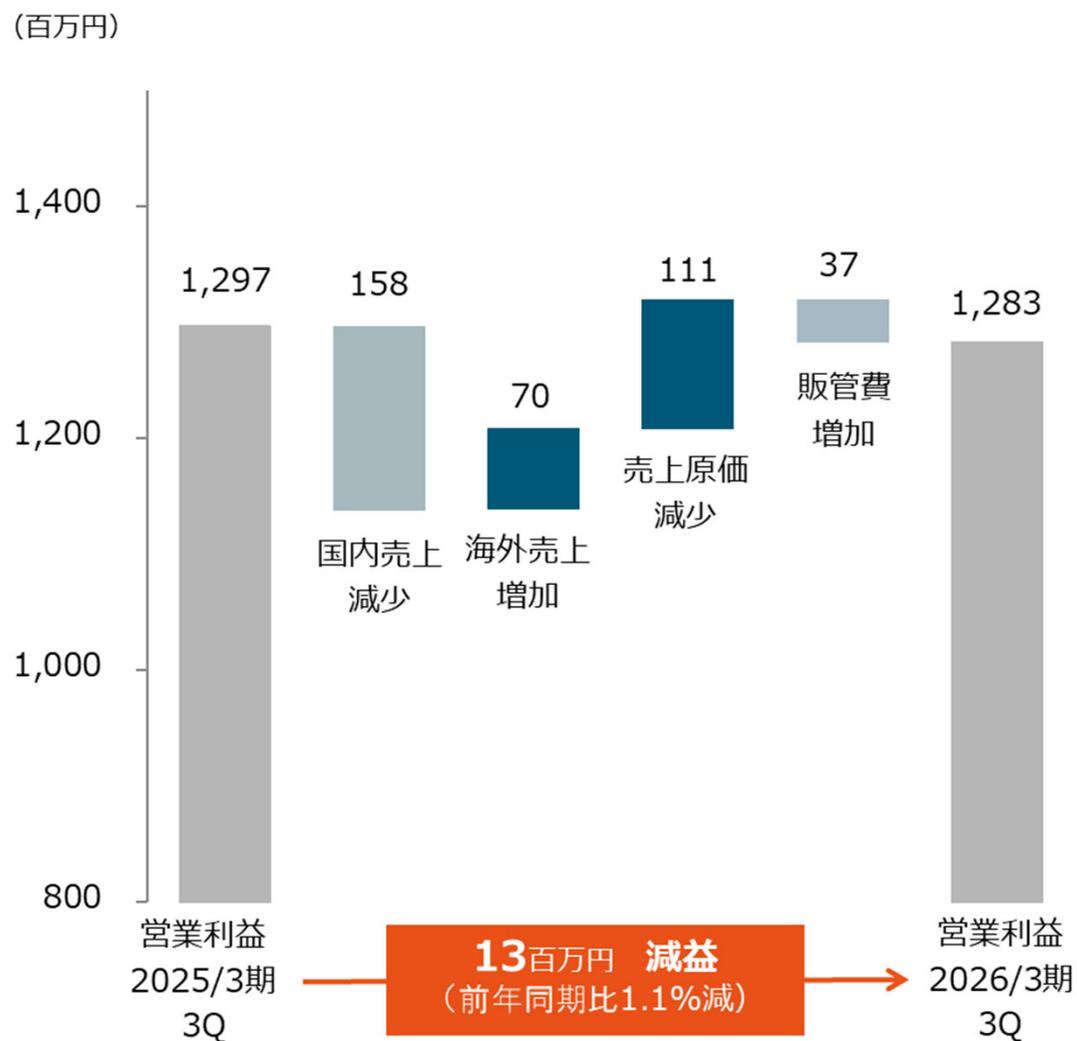
第3四半期決算（累計）の概要

前年同期に比べ減収も経常利益は増益
通期業績予想に対する利益進捗率は高め

(単位：百万円)	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	2026年3月期 通期予想	進捗率
売上高	7,042	6,955	9,140	76.1%
前年同期比	+4.3%	-1.2%	-3.1%	
営業利益	1,297	1,283	1,310	98.0%
前年同期比	-3.8%	-1.1%	-25.9%	
経常利益	1,302	1,312	1,330	98.7%
前年同期比	-4.3%	+0.8%	-25.3%	
四半期純利益	918	924	940	98.4%
前年同期比	-1.1%	+0.7%	-25.7%	

- 国内では、半導体や電子部品・デバイス関連が、AI関連やデータセンター向けを中心として概ね好調を維持し、自動車関連は、米国関税問題の影響を強く受けて停滞が続いていた輸出向け金型案件や量産部品加工等に幾分動きがみられた。海外では、中華圏を含むアジアを中心に自動車や光学、データセンター関連向けが概ね好調に推移した。
- 連結売上高は6,955百万円と、前年同期比1.2%の減少となった。
- 連結経常利益は1,312百万円と同0.8%の増加。売上高経常利益率は18.9%と同0.4ポイント上昇。

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比158百万円、3.4%減少、海外は同70百万円、3.1%増加した。売上高全体では同87百万円、1.2%の減少となった。
- 製造原価の減少等により、売上原価は同111百万円、3.4%減少した。
- 販管費は同37百万円、1.6%の増加となった。前年同期には大規模展示会があったこともあり、販売費は同12.6%減少したものの、人件費が増加した。
- これらの結果、営業利益は同13百万円、1.1%減少し1,283百万円となったものの、売上高営業利益率は18.5%と0.1ポイント上昇した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前年同期比 増減率
売上高	7,042	6,955	-1.2%
売上総利益 対売上高比率	3,731 53.0%	3,755 54.0%	+0.6%
販管費 対売上高比率	2,434 34.6%	2,472 35.5%	+1.6%
営業利益 対売上高比率	1,297 18.4%	1,283 18.5%	-1.1%
経常利益 対売上高比率	1,302 18.5%	1,312 18.9%	+0.8%
四半期純利益 対売上高比率	918 13.0%	924 13.3%	+0.7%
設備投資額	113	440	+287.9%
減価償却費	473	446	-5.7%
従業員数(人)	363	372	+2.5%

- 売上高は6,955百万円と前年同期比1.2%の減少。国内では米国関税問題で停滞していた自動車関連にやや動きが見られたものの大きくは好転せず。一方で海外向けでは、中華圏・一部アジアが好調に推移した。
- 売上総利益は売上原価の減少により、3,755百万円と同0.6%増加し、売上総利益率は54.0%と同1.0ポイント上昇。
- 販管費は人件費等の増加に伴い、同1.6%増加し、売上高販管費比率は35.5%と同0.9ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は1,283百万円と同1.1%減少したものの、売上高営業利益率は18.5%と同0.1ポイント上昇した。
- 設備投資額は440百万円となった。前期設備投資額が少なかったことから、減価償却費は同5.7%の減少となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2025年 3月期末	構成比	2026年 3月期3Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	13,791	69.2%	13,201	68.2%	-4.3%
現金及び預金	9,868	49.5%	9,474	48.9%	-4.0%
受取手形及び売掛金	1,393	7.0%	1,265	6.5%	-9.2%
棚卸資産	2,308	11.6%	2,288	11.8%	-0.9%
II 固定資産	6,150	30.8%	6,164	31.8%	+0.2%
有形固定資産	4,842	24.3%	4,809	24.8%	-0.7%
無形固定資産	15	0.1%	27	0.1%	+70.5%
投資その他の資産	1,292	6.5%	1,327	6.9%	+2.7%
資産合計	19,941	100.0%	19,365	100.0%	-2.9%
(負債の部)					
I 流動負債	1,301	6.5%	1,031	5.3%	-20.7%
買掛金	213	1.1%	212	1.1%	-0.6%
II 固定負債	224	1.1%	219	1.1%	-2.2%
負債合計	1,526	7.7%	1,251	6.5%	-18.0%
(純資産の部)					
自己資本合計	18,221	91.4%	17,919	92.5%	-1.7%
純資産合計	18,415	92.3%	18,113	93.5%	-1.6%
負債・純資産合計	19,941	100.0%	19,365	100.0%	-2.9%

流動資産

自己株式の取得及び法人税等や賞与の支払により現金及び預金が減少したこと等から前期末比4.3%減少。

固定資産

設備稼働による減価償却の開始のため有形固定資産は減少したものの、投資その他の資産が増加したことにより同0.2%増加。

負債

未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同18.0%減少。

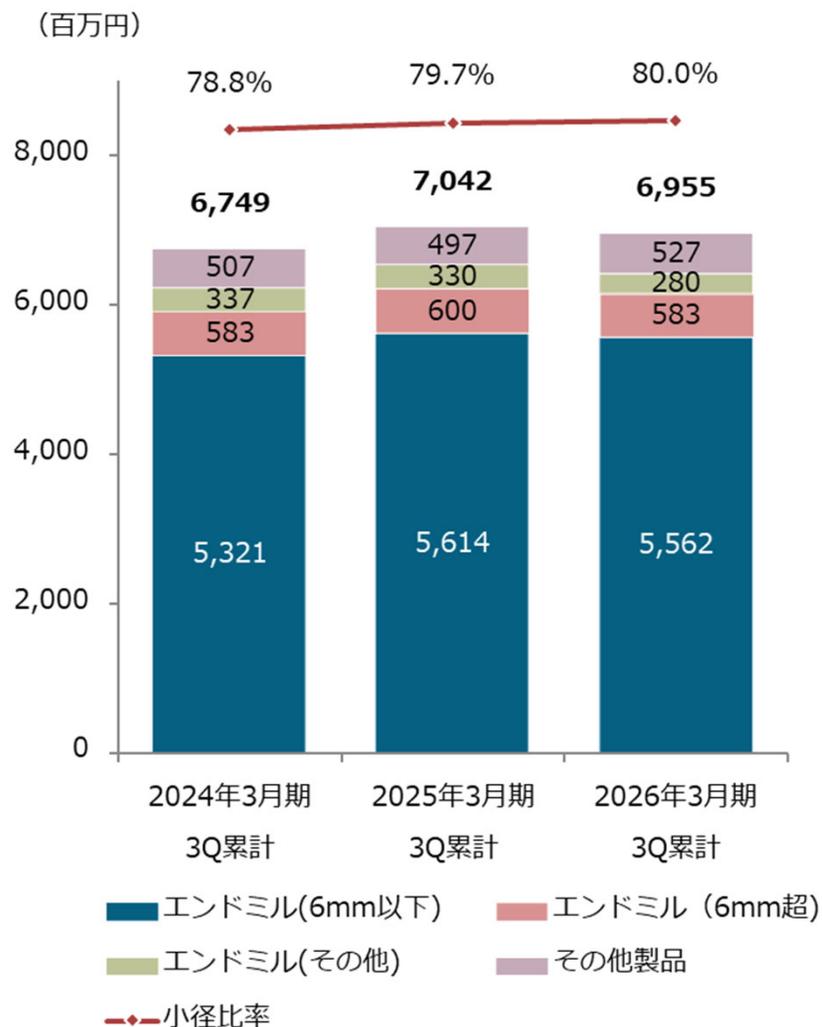
純資産

自己株式の取得等により、同1.6%減少。

負債が減少したこともあり、自己資本比率は92.5%と同1.1ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移①） 製品別

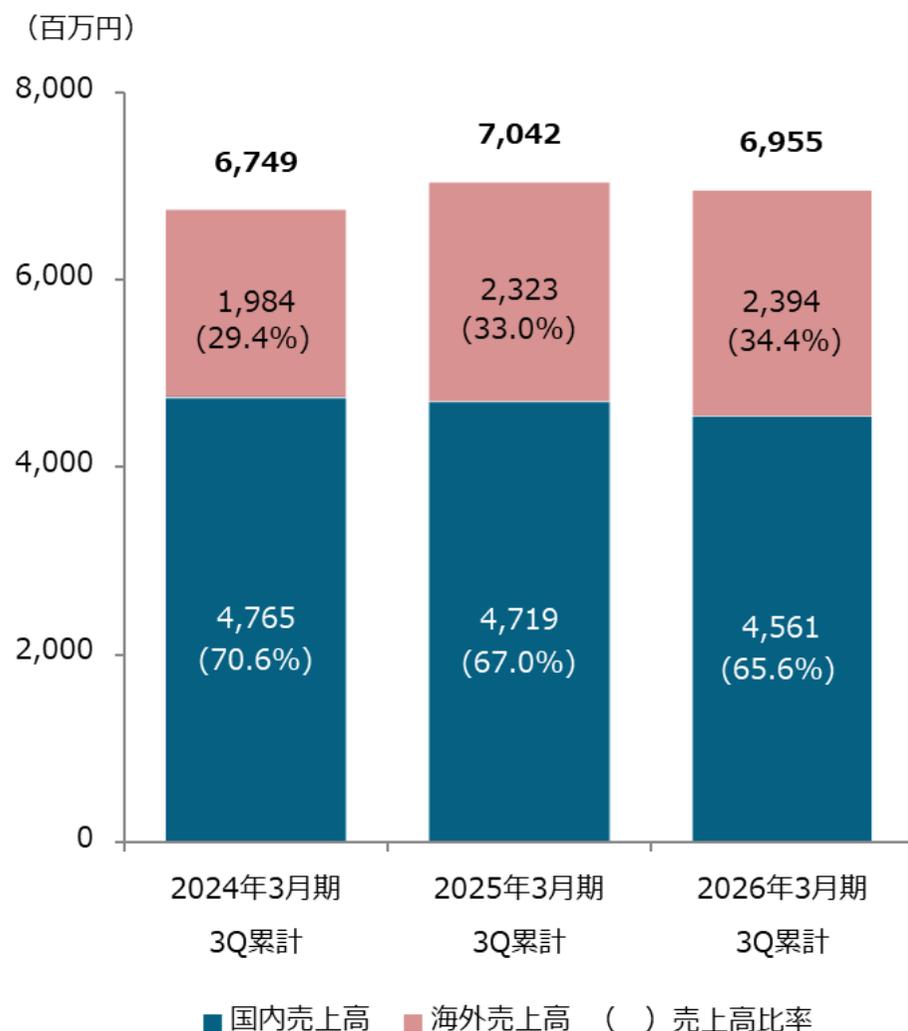
製品別売上高と小径比率の推移



- 製品別売上高の内訳は、エンドミル（6mm以下）が前年同期比0.9%の減少、エンドミル（6mm超）は同2.8%の減少、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同15.0%減少し、工具ケース等のその他製品は同6.1%増加した。
- 売上高6,955百万円のうち、主力のエンドミル（6mm以下）の売上が5,562百万円となっており、小径比率は80.0%と同0.3ポイント上昇、四半期累計ベースで過去最高となった。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

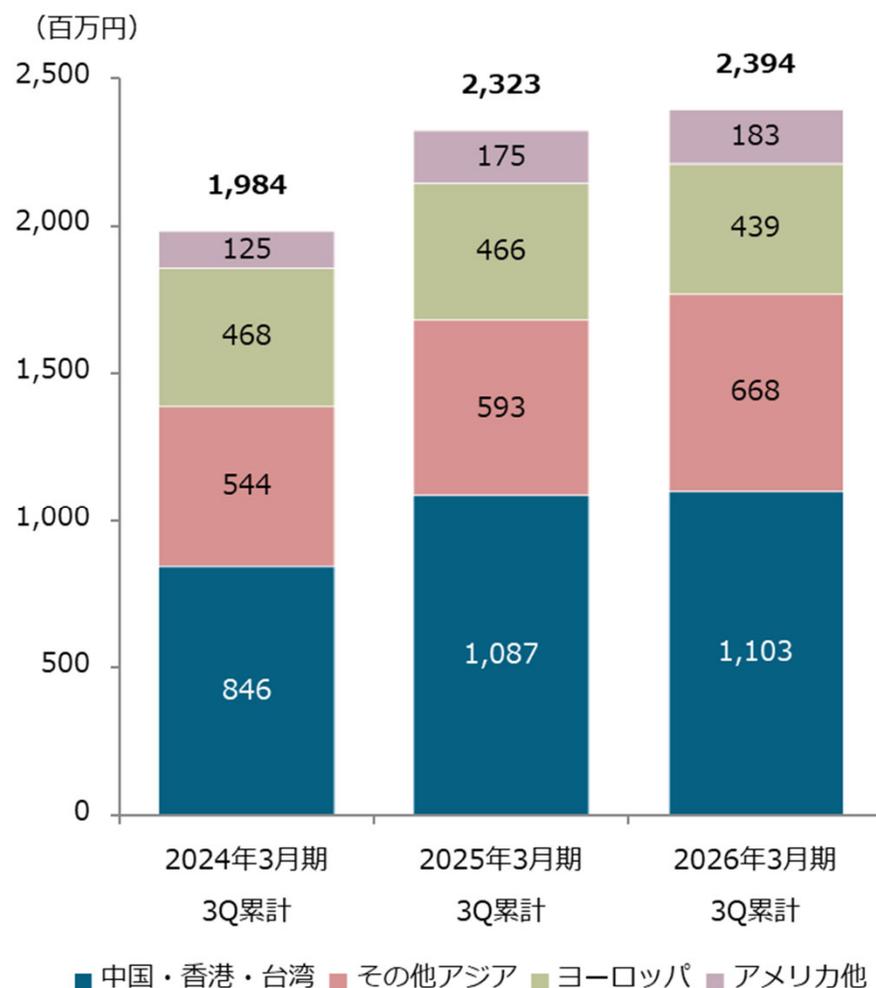
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比158百万円、3.4%減少し4,561百万円となった。海外売上高は同70百万円、3.1%増加し2,394百万円となった。
- 国内は自動車関連が大きく好転しなかった一方、海外は、中華圏やタイ、インド、ベトナムなどのアジアで好調だった。中国からの生産移管もあり、その他アジア地域で売上が伸びてきている。
- 海外売上高の増加により海外売上高比率は前年同期比1.4ポイント上昇し34.4%となり、第2四半期決算時より下がったものの、高い比率となっている。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

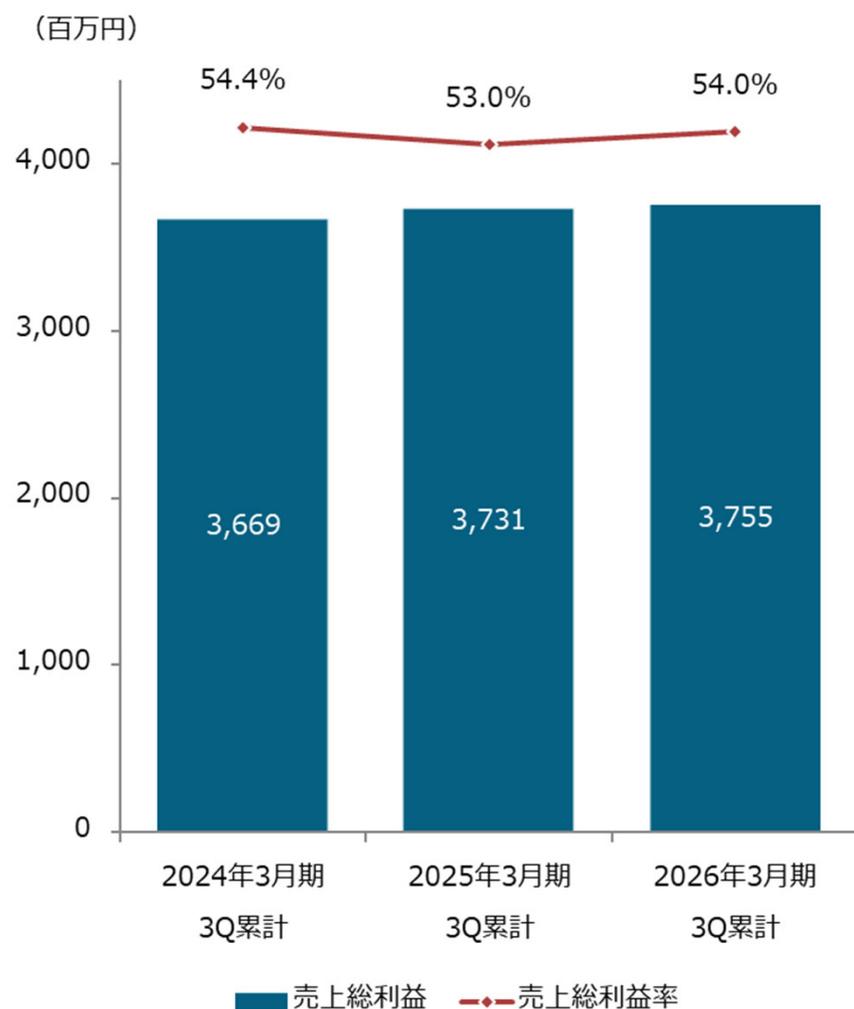
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比1.4%増加し1,103百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期累計の中国向けの数字は1-9月分。精密加工設備への投資が増加しており、自動車・光学関連の大手ユーザー向け売上が増加した。
- その他アジアは同12.7%増加の668百万円となった。タイでは自動車関連やデータセンター関連で好調となった。インドは引き続き好調、ベトナムは景気回復に加え、中華圏からの生産移管分を獲得し売上が伸びた。
- ヨーロッパはメディカルや装飾関係が堅調だったが、自動車関連が依然低迷しており、同6.0%減少の439百万円。
- アメリカ他は同4.7%増加の183百万円。NS TOOL USAの連結にからみアメリカ・メキシコ向けの数字は1-9月分。関税引き上げ前の駆け込み需要の後も堅調に推移した。

業績推移（売上総利益の推移）

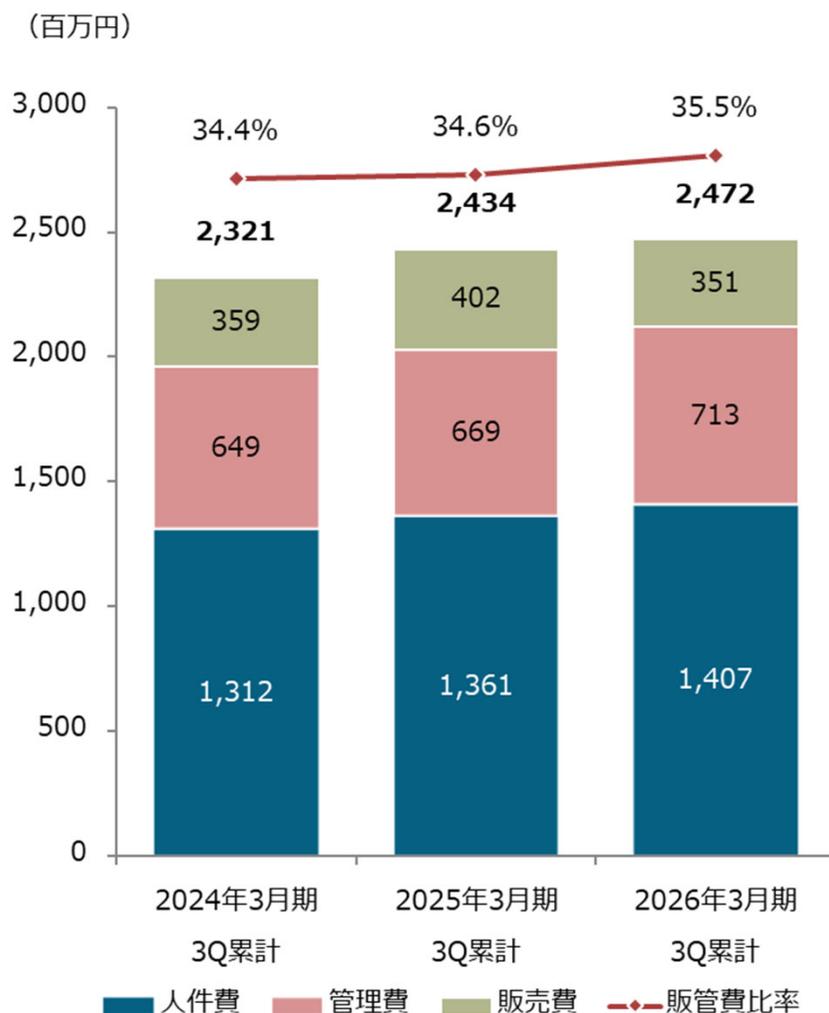
売上総利益と売上総利益率の推移



- 外注加工費は価格の見直し等により前年同期比10.1%増加したが、材料費は売上に合わせて生産数を調整したことによりやや減少、製造経費は工場消耗品費や製造減価償却費の減少により同7.8%減少し、当期製品製造原価は若干減少した。
- 適正な生産計画の策定と在庫管理に加え、継続的な原価低減活動が奏功し、売上原価は同3.4%減少した。
- 売上総利益は同0.6%増加し3,755百万円となり、売上総利益率は54.0%と同1.0ポイント上昇した。

業績推移（販管費の推移）

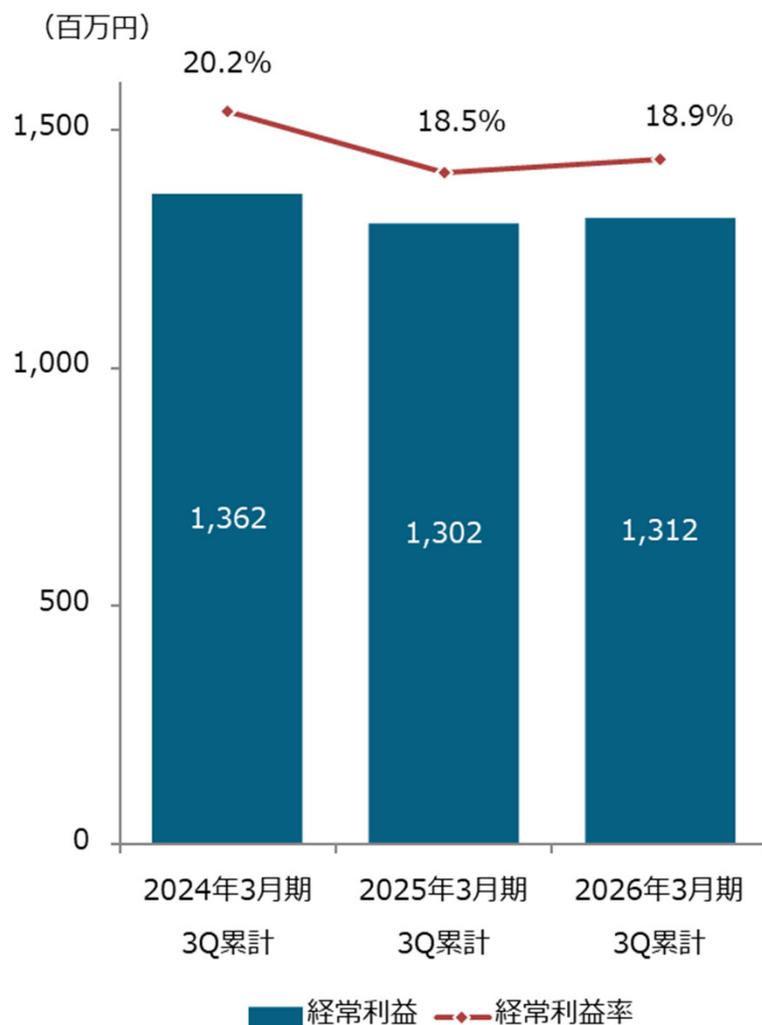
販管費と販管費比率の推移



- 前年同期はカタログ改訂費用や大規模展示会への出展費用が高んだため、主に広告宣伝費と展示会費が減少し、販売費は前年同期比12.6%減少の351百万円。
- 人件費は、賃上げに伴う給与の増加等により、同3.3%増加し1,407百万円。
- 販管費全体では同1.6%増加の2,472百万円となり、売上高販管費比率は35.5%と同0.9ポイント上昇した。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 減収及び販売管理費の増加により、営業利益は前年同期比1.1%減少し、1,283百万円となった。
- 営業外損益は、作業くず売却益や為替差益等により営業外収益が29百万円上回り、経常利益は1,312百万円、同0.8%の増加となった。
- 売上高経常利益率は18.9%と前年同期に比べ0.4ポイント上昇した。

2026年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想	前期比 増減率	期初 通期予想
売上高	9,431	9,140	-3.1%	9,680
営業利益	1,767	1,310	-25.9%	1,740
経常利益	1,779	1,330	-25.3%	1,750
当期純利益	1,264	940	-25.7%	1,200
設備投資額	111	882	+693.5%	882
減価償却費	644	635	-1.3%	655
EPS (円)	50.80	37.69	-25.8%	48.20
1株当たり配当金 (円)	30.00	30.00	—	30.00

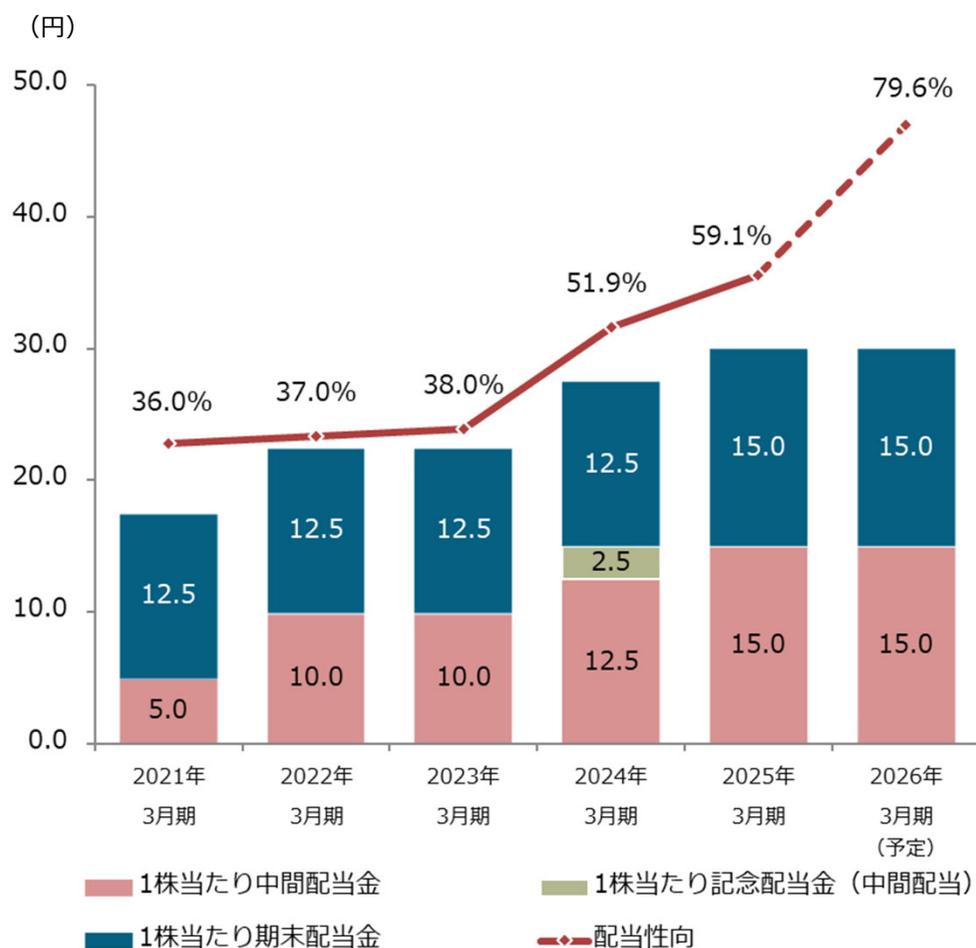
- 上期において、米国関税問題の影響や新車開発案件の回復の遅れから国内の自動車関連向け需要が低調となり減収となったが、下期にかけても需要は大きくは好転しない見込み。また、好調に推移している中華圏向けでは、中国国内で政府からの自国製工具への切り替え圧力が強まっていることから、中国向け売上の下振れが懸念される。以上により、10月に通期業績予想の下方修正を実施。
- 加えて、原材料の値上がりや賃上げによる労務費の上昇等により製造コストは今後も高止まりする見込みとなっているため、営業利益、経常利益ともに減益の予想。
- 設備投資は期初予想より変更なし。新規設備導入と継続的な生産設備の更新を実施予定。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円を予定。

下期業績予想と進捗率

(単位：百万円)	2026年3月期					
	下期			通期		
	下期予想	3Q実績	下期 進捗率	通期予想	3Q累計 実績	進捗率
売上高	4,548	2,364	52.0%	9,140	6,955	76.1%
前年同期比	-4.8%	-1.0%		-3.1%	-1.2%	
営業利益	548	521	95.1%	1,310	1,283	98.0%
前年同期比	-42.5%	+7.7%		-25.9%	-1.1%	
経常利益	546	529	96.8%	1,330	1,312	98.7%
前年同期比	-43.4%	+8.4%		-25.3%	+0.8%	
当期純利益	396	380	96.2%	940	924	98.4%
前年同期比	-43.1%	+8.9%		-25.7%	+0.7%	

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円。
手元流動性が増加しており、株主還元強化のため増配。
中間配当金15.0円
期末配当金15.0円
業績に対する配当性向は59.1%
- 2026年3月期の1株当たり年間配当金は30.0円を予定。
中間配当金15.0円
期末配当金15.0円
業績予想に対する配当性向は79.6%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び
9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号
で100株以上の保有記録が記載または記録されることを
いいます
- 資本効率の改善と株主還元強化を図るため、
2025年11月4日～2026年3月19日の期間、
2,500,000株、2,000百万円を上限とした自己株式取得を
実施予定

參考資料



新製品『SSPB220』 / 『MHRSH430RSF』 / 『RSE325LH』

CBNスーパースパイラルボールエンドミル

『SSPB220』 (2025年10月)

8サイズ追加

- ✓ 耐チップング性と切削性を向上させる
スパイラルボール形状で
光沢のある仕上げ加工面を実現



刃先形状
(スパイラルボール形状)



無限コーティングプレミアムPlus

高硬度鋼高精度加工用4枚刃ロングネックラジアスエンドミル

焼きばめチャック対応ショートシャンクタイプ

『MHRSH430RSF』 (2025年12月)

64サイズ追加

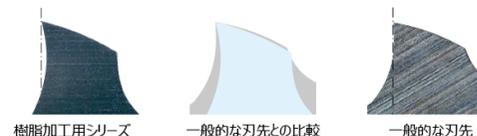
- ✓ 4枚刃で高能率加工が可能
- ✓ 高硬度鋼の仕上げ加工を高精度に改善



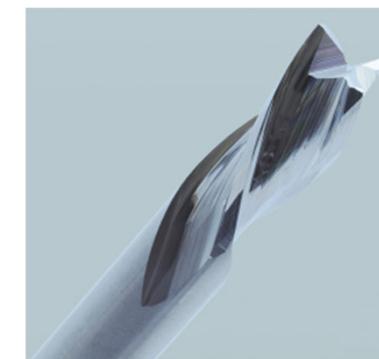
樹脂加工用 バリ低減3枚刃右刃左ねじれスクエアエンドミル

『RSE325LH』 (2025年12月)

- ✓ 樹脂加工に特化した刃形状で、加工品質が向上
- ✓ 右刃左ねじれ仕様で、加工上面に発生するバリを軽減



従来品より刃先を鋭角に

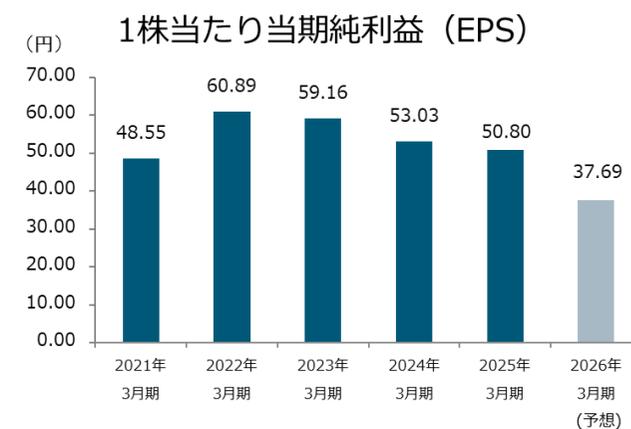
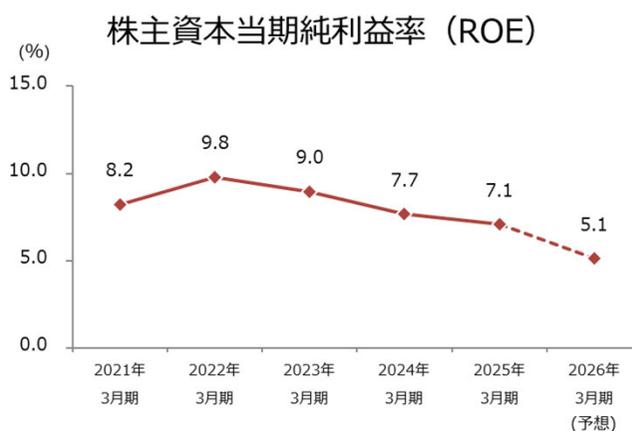


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績
売上高	8,100	9,524	9,656	9,040	9,431
営業利益	1,512	2,111	2,108	1,867	1,767
営業利益率	18.7%	22.2%	21.8%	20.7%	18.7%
経常利益	1,712	2,156	2,131	1,908	1,779
経常利益率	21.1%	22.6%	22.1%	21.1%	18.9%
当期純利益	1,214	1,522	1,475	1,320	1,264
当期純利益率	15.0%	16.0%	15.3%	14.6%	13.4%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	15,326	16,165	17,200	17,729	18,415
総資産額	16,936	17,874	18,857	19,241	19,941
自己資本比率	89.4%	89.2%	90.1%	91.1%	91.4%
設備投資額	462	659	686	563	111
減価償却費	707	692	669	627	644
1株当たり配当金（円）	17.50	22.50	22.50	27.50	30.00
従業員数（人）	339	348	352	350	358

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

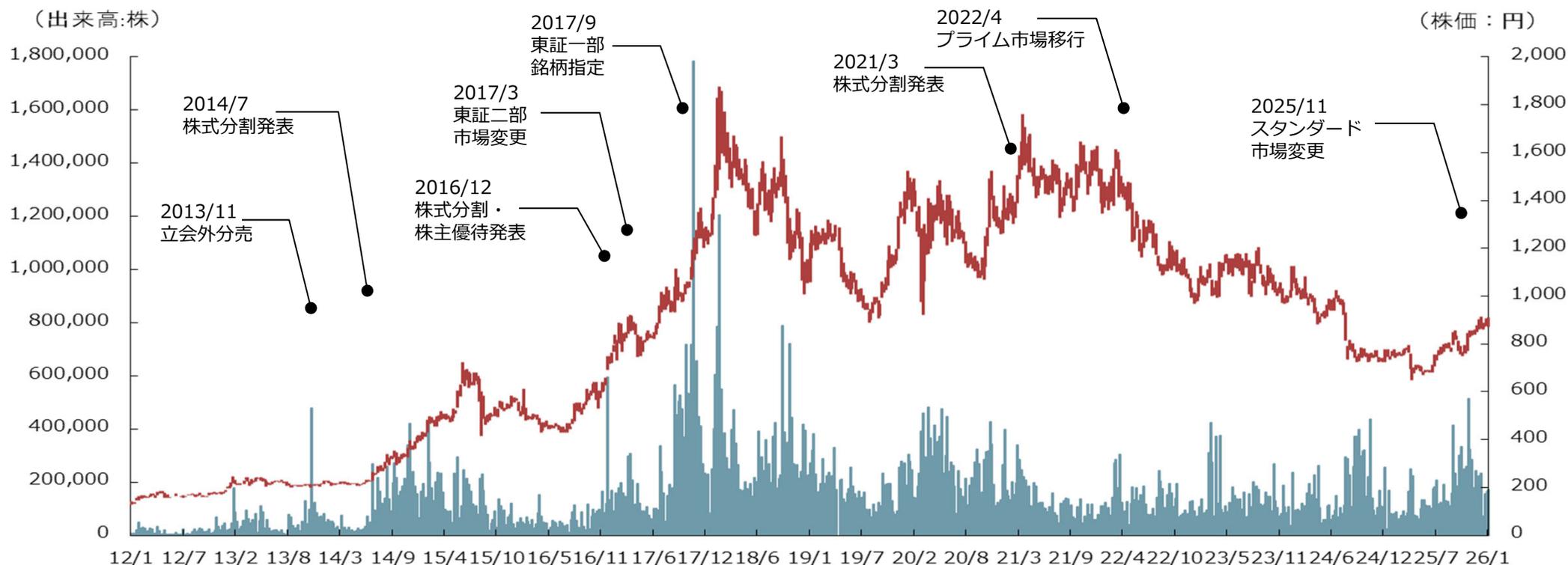
投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2026年1月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2026年1月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	214億円
ROE (25/3期実績)	7.1%

単元株価格	8万5,600円
PER (26/3期予想)	22.71
PBR (25/3期実績)	1.17倍

IR情報サイト／ニュースメール登録のご案内

The screenshot shows the NS TOOL IR information website. The top navigation bar includes links for 'お知らせ' (Notice), 'お問い合わせ' (Contact Us), 'サイトマップ' (Site Map), 'グループ会社' (Group Companies), and 'English'. Below the navigation bar, there are tabs for '製品情報' (Product Information), '事例・技術情報' (Cases & Technical Information), '会社情報' (Company Information), '採用情報' (Recruitment Information), and 'IR情報' (IR Information). The main content area is titled 'Investor Relations' and 'IR情報' (IR Information), with a sub-header 'IR情報' and 'スタンダード市場 コード：6157'. The page is divided into two main sections: 'IRトピックス' (IR Topics) and 'IRニュース' (IR News). The 'IRトピックス' section lists recent reports, including 'IR資料 2025.12.02 ベル企業レポート (2026年3月期第2四半期) [PDF] (909KB)', 'IR資料 2025.11.25 2026年3月期 中間報告書[PDF] (1,717KB)', and 'IR資料 2025.11.25 説明会資料[PDF] (1,980KB)'. The 'IRニュース' section lists recent news items, including 'IR情報 2026.01.05 自己株式の取得状況に関するお知らせ[PDF] (72KB)', 'IR情報 2025.12.03 自己株式の取得状況に関するお知らせ[PDF] (72KB)', 'IR情報 2025.12.01 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ[PDF] (86KB)', and 'IR情報 2025.11.12 当社及び当社の子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に關するお知らせ[PDF] (131KB)'. A right-hand sidebar contains a 'IR情報' menu with a '+' icon, and a list of categories: 'IR情報トップ', 'トップメッセージ', '個人投資家の皆様へ', 'IRトピックス・IRニュース', 'IRカレンダー', '+ 経営方針・体制・コーポレート・ガバナンス', '+ 事業戦略', '+ 業績・財務情報', '+ IRライブラリー', '+ イベント', '+ 株式情報', 'よくあるご質問', 'IRサイトの使い方', 'IR情報サイトマップ', and 'IRニュースメール登録'.

IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>



当社の適時開示情報・IR情報をタイムリーに受け取ることができます。

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。